

7月20日(木)

1 学期終業式

今日で1学期が終わりました。入学式や運動会、そして学年団ごとに様々な活動をした1学期でした。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられましたが、感染する人がいなくなったわけではありません。2類のときほど厳しくはないにせよ感染症対策は続いています。そんな中でも、子供たちは学校でいろいろな「学び」を続けました。明日から長い夏休みが始まります。体調を崩したりけがをしたりすることなく過ごしてほしいです。

保護者の皆様には、学校教育に御理解・御支援を賜り、ありがとうございます。夏休みの間にお子様のことで気になることがございましたら、学校に御連絡下さい。

以下、終業式での校長の話です。

始業式で私は、「全学級が『日本一すばらしい!』と自慢できる学級にする、ということ、1年間の宿題にします。」と言いました。その宿題を仕上げるための積み重ねが1学期にできたでしょうか?自分を振り返ってほしいので、一つお話をします。

背の高さが違うA・B・Cの3人の多小っ子マンがいました。壁の向こうには、きれいな景色が広がっています。3人の多小っ子マンがきれいな景色を見ようとすると…。きれいな景色が見えたのはCさんだけでした。「背の高さが違う3人の多小っ子マンが、同じ景色を見るためにはどうしたらいいのかな?」と先生は考えました。そして先生は思いつきました。「Cさんと同じ景色が見られるように、AさんとBさんに台を用意すればいいんだ!」と。先生が用意した台に上がったAさんとBさんはCさんと同じ景色を見ることができました。

さて、台に上がって自分と同じ景色を見ているAさんとBさんをCさんはどう思ったのでしょうか?ア「僕も台に上がりたいよ。AさんとBさんがうらやましいな。」、イ「AさんとBさんが景色を見ることができてよかった!」みなさんはどちらだと思えますか?Cさんはこう思いました。「AさんとBさんが景色を見ることができてよかった!」

これが「違いを認める」とか「友達を大切にすること」です。こういう気持ちで1学期を過ごせていたら、私からの宿題を仕上げるための1学期が過ごせたということになります。みなさん、どうですか?「日本一すばらしい!」と自慢できる学級にするために、このお話を覚えておいてくださいね。

2学期もみなさんはたくさんのお話を経験します。友達を大切にしながら、自分も頑張る2学期にするための準備をする期間が夏休みです。病気になったりけがをしたりすることなく過ごしてほしいというのが、私の一番の願いです。その上で、更にパワーアップした自分をつくる夏休みにしてほしいと思います。

明日から42日間の夏休みが始まります。健康・安全で楽しい夏休みを過ごし、9月1日には「夏休みに〇〇を頑張ったよ。」と担任の先生にお話をしてくださいね。